

令和8年度 第1回富里市地域公共交通会議 会議録

日 時 令和8年4月22日（水）午前10時00分

場 所 富里市役所 すこやかセンター2階 会議室1

所 属	氏 名	出 欠
富里市 副市長	山根 康夫	○
富里市 総務部長	竹本 明	○
富里市 企画財政部長	山崎 秀幸	○
富里市 健康福祉部長	藤田 明美	○
富里市 経済環境部長	永田 健矢	○
富里市 都市建設部長	曾根 明宏	○
富里市 教育部長	枝村 光久	○
京成バス千葉イースト株式会社 営業部長	梅田 和也	【代理人】 佐伯 伶太
ジェイアールバス関東株式会社 成田空港支店長	田中 圭一	○
京成タクシーイースト株式会社 代表取締役社長	馬上 渉	○
千葉交通労働組合 書記長	伊藤 賢	○
一般社団法人 千葉県バス協会 専務理事	成田 斉	○
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	菅井 規	○
千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	若林 大祐	○
成田警察署 交通課課長	山本 進一	【代理人】 鈴木 香住
公募市民	寺井 繁樹	○
公募市民	伊藤 裕通	○
公募市民	石井 寿恵子	○
富里市区長会 会長	長谷川 英利	○
富里市シルバークラブ連合会 会長	高橋 保夫	○
富里市PTA連絡協議会 根木名小学校PTA会長	竹崎 めぐみ	○
日本大学理工学部 教授	伊東 英幸	×
成田国際空港株式会社 地域共生部長	高梨 弘子	【代理人】 宮田 真行
富里市社会福祉協議会 会長	宮川 朱実	○



《事務局》

- ・富里市企画財政部経営戦略課：根本課長、小澤課長補佐、平岡副主幹、埴主事

《配布資料》

- ・次第、委員名簿、席次
- ・前回会議資料：令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）
- ・資料1：令和7年度富里市地域公共交通会議事業報告及び収支決算（案）
- ・資料2：富里市地域公共交通計画の策定について
- ・資料3：富里市地域公共交通計画スケジュール
- ・資料4：富里市地域公共交通計画策定業務仕様書について
- ・資料5：富里市地域公共交通計画策定業務委託における事業者選定について
- ・資料6：デマンド交通（キャロリン号）における無断キャンセルについて

次 第

▶ 令和8年度第1回富里市地域公共交通会議

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議 事 項

- (1) 令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）-----前回会議資料
- (2) 令和7年度富里市地域公共交通会議事業報告及び収支決算（案）-----資料1
- (3) 富里市地域公共交通計画の策定について-----資料2
- (4) 富里市地域公共交通計画策定スケジュールについて-----資料3
- (5) 富里市地域公共交通計画策定業務仕様書について-----資料4
- (6) 富里市地域公共交通計画策定業務委託における事業者選定について-----資料5

4 報 告 事 項

- (1) 今後の会議スケジュールについて-----資料6

5 そ の 他

6 閉 会



令和8年度第1回富里市地域公共交通会議

1 開 会

【事務局：司会】

本日の会議は委員総数24名に対し23名の出席となり、会議規約第8条第2項により本会議は成立していることを報告する。

また、本日の傍聴の申し込みは無しとなる。それでは、開会する。

2 挨拶

【会長】

本日は多忙の中、会議にお集まりいただき感謝申し上げます。

新年度に入り初めての会議ということで昨年度同様に、委員の皆様から御指導を賜りたいと考えているのでよろしくお願いする。

年度が切り替わり、委員の一部に異動があったことから、新たな委員の御紹介を後ほど事務局からさせていただく。

デマンド交通キャロリン号に関しては、多くの市民の方に利用されており、利用者からの要望や、委員の皆様からの御意見を踏まえて随時見直しを図り、利便性の向上に努めているところである。引き続きより良い運行となるよう御意見をお願いしたい。

本日は協議事項6件、報告事項1件となり説明のボリュームも大変多くなっていることから、スムーズな進行への御協力をお願いする。

【事務局：司会】

人事異動による新たな委員、事務局の紹介
(省略)

3 協議事項

(1) 令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）

【会 長】

事務局から説明を求める。(前回会議資料を基に事務局より説明)

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

【会 長】

令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）について、事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

【委 員】

異議なし。

【会 長】

令和8年度富里市地域公共交通会議歳入歳出予算書（案）について、



事務局（案）のとおりとする。

協議事項（１）について【承認】

（２）令和７年度富里市地域公共交通会議事業報告及び収支決算（案）

【会 長】

事務局から説明を求める。（資料１を基に事務局より説明）

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

【成田委員】

１点目、資料１の２ページについて協議事項なのか報告事項なのか分別し、誤解の無いような表現方法にするよう検討いただければと思う。

２点目、３ページの歳出合計の比較欄と歳入歳出差引額の金額の相違はおそらく預金利息の影響かと思うが念のため確認する。

また、差引額の全額について、富里市に戻入することになっているか確認したい。

【事務局】

１点目について、協議事項と報告事項が分かるよう、今後については表示をすることとしたい。

２点目について、委員御指摘のとおり、預金利息の影響により富里市に戻入する金額が歳出合計のマイナス額と相違してくる。差引額の全額については、富里市に戻入し公共交通会議の口座残高は０円で年度を閉めている。

【成田委員】

１つ目の意見への回答で、分かり易いかたちに修正するとのことだが、出来た案は次回会議で確認するのか、会長一任により事務局でお願いするか、先ほどの説明の補足で確認したい。

【事務局】

今回の内容については軽微なものなので会長一任で対応したい。より重要な部分の修正に関しては書面での送付や次回会議の中で対応する。



【長谷川委員】

成田委員ご指摘の比較というのは予算額と決算額の差のため、富里市に戻入するものは決算額の収入総額と支出総額を差引した金額となると理解している。

【会 長】

令和7年度富里市地域公共交通会議事業報告及び収支決算（案）について、事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

【委 員】

異議なし。

【会 長】

令和7年度富里市地域公共交通会議事業報告及び収支決算（案）について、事務局（案）のとおりとする。

協議事項（2）について【承認】

（3）富里市地域公共交通計画の策定について

【会 長】

事務局から説明を求める。（資料2を基に事務局より説明）

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

【成田委員】

1点目に資料2の4ページに分野別計画とあるが、来年度からの計画と現行の計画での分野別計画に違いがあるか、また、どんな分野が計画に関連しているのか紹介いただきたい。

2点目は、富里市の方向性の中の文章に異論はないが、表中、「国及び市の補助金などを活用し」のなかで、県からの補助金の活用は無いということよろしいか。

【事務局】

分野別計画については、庁内各分野において公共交通に関連する計画と齟齬が生じないように連携している。特に福祉関連の分野は関連が深く見直し時期が重なっていることから情報を共有しながら連携を進めていく。

2点目について、現段階では県の補助金検討は無い。



【会 長】

地域公共交通計画に対し、県からの補助金はあるのか若林委員に質問をする。

【若林委員】

地域公共交通の再構築として、令和7年度から地域公共交通リ・デザイン推進事業を進めている。この事業では、交通の再編やDX化などに対する補助事業や市町村からの相談を行っており、令和8年度は募集していたが、9年度以降は県の予算によって確約はできないが視野に入れて検討いただくことは可能である。

【成田委員】

富里市の方向性の5行の文章は、来年度からの5年間の計画を策定するための調査業務の内容である。ただ、富里市の方向性ということでタイトルをつけるのであれば、具体的な施策を盛り込んだ持続可能かつ実効性のある計画を目指すとのことであると、もう少し広い範囲になるので、富里市の方向性というよりも、策定に関する基本的な考え方など、表現について検討した方がいいのではないかと。

【事務局】

成田委員ご指摘のとおり、策定に関する基本的な考え方となっているので修正する。

今回の改訂にあたっては、国からの調査事業補助金の利用を検討している。

【伊藤(賢)委員】

4ページの富里市の方向性に関して、公共交通が直面している深刻な課題として人口減少、少子高齢化が入っているが、運転手も公共交通を支える重要な要素であり運転手不足等の社会情勢への対応も追記いただくと良いのではないかと。

【事務局】

内容について修正対応する。

【会 長】

この他に質疑なければ、富里市地域公共交通計画の策定について、事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

【委 員】

異議なし。

【会 長】



富里市地域公共交通計画の策定について、事務局（案）のとおりとする。

協議事項（３）について【承認】

（４）富里市地域公共交通計画策定スケジュールについて

【会 長】

事務局から説明を求める。（資料３を基に事務局より説明）

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

【成田委員】

現計画における目標の達成、未達成の状況や課題整理については次期計画の中にも反映させていただくべき内容であると考えていることから、選定事業者への提示前に委員報告の検討をお願いしたい。

【事務局】

委員御指摘のとおり進めていきたいと考えている。

【会 長】

貴重な意見ありがたい。富里市地域公共交通計画策定スケジュールについて、事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

【委 員】

異議なし。

【会 長】

富里市地域公共交通計画策定スケジュールについて、事務局（案）のとおりとする。

協議事項（４）について【承認】

（５）富里市地域公共交通計画策定業務仕様書について

【会 長】

事務局から説明を求める。（資料４を基に事務局より説明）

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。



【菅井委員】

資料4の1ページ2業務の目的に、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律や地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針で規定する交通計画の作成に関する基本的な事項を網羅し」とあるが、自治体の中には交通計画を策定することで終わってしまっている自治体も散見される。計画を作ってそれを実現していくことが重要であり、計画策定のためのアップデートガイダンスというマニュアルも用意されていることから、可能な範囲で構わないがガイダンスに基づいた要素も踏まえながらコンサルの選定を進められれば良いのではないかと思う。

また、感想であるが、交通に関して連携・協働が国のひとつのテーマとなっているが富里市にあっては各部の部長も委員の課に参画されており大変すばらしいと感じている。

【事務局】

アップデートガイダンスについては事務局でも承知しており、御指摘のとおり進められればと思う。

【成田委員】

仕様書にデマンド交通利用者を含めたアンケート調査の実施の記載があるが、選定事業者に提案いただきたい内容はデマンド交通キャロリン号に関する限定的なものか、違うデマンド交通の形態も含めたものとなるか。

また、成果物の提出期限については3月末とあるが期間が1年と短い中で、4月を超えても可能と考えているのであればその旨も付記した方が良いのではと思うがいかがか。

3点目としては、バスやタクシーの事業者への意見照会の機会では、受託業者は同席のもと進めることとなるのか。

【事務局】

デマンド交通について、提案いただきたい内容としてはデマンド交通キャロリン号に限ることなく、富里市の公共交通を検討する上で違う形態でのデマンド交通も必要であれば提案いただきたいと考えている。

成果物の提出期限については、契約履行期限の3月末までとなる。

また、バスやタクシー事業者との意見照会の機会においては、必要に応じてスムーズに進むよう事務局も連携していきたいと考えてい



る。

【宮田委員】

4 ページ目に記載のある提出期限について、資料 3 に計画素案の策定時期が 1 2 月ころの記載があるが、計画素案の提出時期、計画案の提出時期なども仕様書の中に記載した方が良いのではないかという意見である。

【事務局】

委員御指摘のとおり、計画素案の提出時期、計画案の提出時期の目安時期について記載を検討する。

【会 長】

一部修正の必要はあるが、富里市地域公共交通計画策定業務仕様書について、事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

【委 員】

異議なし。

【会 長】

(5) 富里市地域公共交通計画策定業務仕様書について、事務局（案）のとおりとする。

協議事項（5）について【承認】

(6) 富里市地域公共交通計画策定業務委託における事業者選定について

【会 長】

事務局から説明を求める。(資料 5 を基に事務局より説明)

【会 長】

説明のあった件について、事務局から、委員が欠席された場合の扱いについて精査し、再度資料に反映する旨の説明があったが、それを踏まえ、委員の皆様から何か御質問はあるか。

【成田委員】

説明の内容に異論はない。一点だけ、通常、公共事業の入札などでは予定価格などを伏せた上で募集をかけることが多いが、資料 9 ページ・10 ページの提案審査基準及び評価方法について、応募事業者にも全てホームページなどで公開することとなるか。

それとも、この場の秘匿とするものであるか補足して説明いただきたい。



【事務局】

こちらの内容については、全てオープンとすることを想定している。

【宮田委員】

資料9ページの審査項目及びその着眼点の配点について、業務実績や業務の理解度など、どの事業者にあってもある程度、一律に決まってくる内容については配点が低く、アイデアなどの部分は配点が高いように見受けられるが意図について説明いただきたい。

【事務局】

計画の中で、一番違いが出てくる部分で、富里市の実情に応じた内容で提案いただく独自の部分を高配点としている。

【馬上委員】

実際に募集開始してみないと分からないところはあると思うが、どれくらいの応募があると見込んでいるか。また、仮に一社だった場合については提案内容に関わらず採用となるか。

【事務局】

参考として例示すると、前回の、令和4年の計画策定時にもプロポーザル方式による業者選定としているが、その時には6社程度の応募であった。

仮に一社のみのお応募となった場合の扱いであるが、業務提案はいただき、審査したうえで委員採点の結果360点未満の場合は不採用となる。その際には、再度のプロポーザルが間に合うかということもあるが、再実施又は自前での計画策定となる。

【会 長】

一部修正があるものの、富里市地域公共交通計画策定業務委託における事業者選定について、事務局（案）のとおりとしてよろしいか。

【委 員】

異議なし。

【会 長】

富里市地域公共交通計画策定業務委託における事業者選定について、事務局（案）のとおりとする。

協議事項（6）について【承認】

【会 長】 本日の協議事項は以上となる。（全ての協議事項終了）



4 報告事項

(1) 今後の会議スケジュールについて

【会 長】

続いて報告事項となる。

事務局から説明を求める。(資料6を基に事務局より説明)。

【事務局】

今後の会議スケジュールについて、前回会議資料として配布させていただいた中に、令和8年度の事業計画があり、現時点での今後の会議スケジュールを掲載している。内容が同一となることからそちらに代えさせていただきたい。

【会 長】

ただいま、説明のあった件について、委員の皆様から何か御質問はあるか。

【委員】

質疑等なし。

【会 長】

今後のスケジュールについては以上となる。本日の議題は全て終了となるので進行を事務局にお戻しする。

5 その他

【事務局：司会】

次第5の、その他となるが事務局から一点だけ、追加で配布させていただいた資料6を基に、懸案となっている無断キャンセルについての進め方の方針などをお示しさせていただきたい。

【事務局】

(資料6を基に事務局より説明)

【事務局：司会】

質疑等あればお願いしたい。

【成田委員】

5ページに記載のある慎重に検討する部分については、無断キャンセルの言葉について浸透させることは重要であると考えている。無断キャンセルの発生状況は掲載されているが、無断キャンセルとなった個々の具体的な事情については把握されているものなのかお



伺いたい。

また、件数だけでなく他の視点での捉えも必要なのではないかと考えている。

さらに、運行事業者で余計な配車となることでの影響や予算的なものなど現在の状況も含め、周知を図っていくことが重要であると考えている。

【事務局】

どういった状況でキャンセルとなったかの状況把握については、運行事業者のオペレータと事務局で情報を共有し承知している。

その中で、認知が疑われる方については庁内の福祉部門と連携をとりながら情報共有を図り対応している。

影響という部分では、予算というよりは無断キャンセルにより真に必要なとしている方が利用することができない状況が一番の影響であると考えている。

【石井委員】

自身も予約を勘違いし意図せず結果的に無断キャンセルしてしまったことがあり反省している。

今後、無断キャンセル料の徴取や一定期間の利用停止などが検討されると思うが、利用ができないのはダメージが大きく、利用者にとっては一番困ることとなる。一方、無断キャンセル料の徴取についても、十分、利用者に現状の理解と今後の対応を浸透させた上での実施が大切と考えている。

【事務局】

物忘れが疑われる場合には、オペレータの方でもメモがとれるように十分に配慮した案内をするなど丁寧な対応をされていることを補足させていただく。

【菅井委員】

高速バスなどで無断キャンセル料の徴取を行っている事例は把握しているが、デマンド交通でのキャンセル料の徴取についてどういった解釈で、どういった手続きのもとおこなっているかは不明であるが、キャンセル料の徴取や一時利用停止などについては慎重に進めた方が良いと思うので、事前に当支局へ御相談いただければと思う。

【事務局】



慎重に進めたいと思うので、よろしく願います。

【高橋委員】

無断キャンセルについては、意図せず発生させてしまうこともある。財政的にも、運行上でも無断キャンセルによる損失は大きいことは承知しているが、数字だけを見て簡単に決定していくことなく色々な意見を踏まえながら慎重に進めていただきたいと考えている。

【事務局】

無断キャンセルの抑制については慎重に進めるべきと考えている。第一弾としての状況を市民や利用者の皆様へ周知していくことについては重要と考えている。

【宮川委員】

ガソリンの価格も今後高くなっていくかもしれないというような状況の中で、公共での運行のデマンド交通であるからと、軽視した無断キャンセルがあるとすれば、利用者も考えを改める必要もあるしそのための周知も必要である。また、高齢者の利用で無断キャンセルとなってしまうようなケースでは周りの家族を含めた対応も必要であるので抑制のための周知は重要であると考えている。

【事務局：司会】

その他、委員の皆様からは何かあるか。

無いようなので、以上をもって令和8年度第1回富里市地域公共交通会議を閉会する。多忙の中、長時間に渡る協力に感謝申し上げます。

